TOSHIBA

はじめに 2
接続 17
再生（基本編） 25
再生（応用編） 33
機能設定 51
その他 61

東芝DVDビデオプレーヤー取扱説明書

SD-260J

- このたびは東芝DVDビデオプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのDVDビデオプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面にある製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中にテレビ画面に「⃠」が表示されることがあります。
「⃠」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

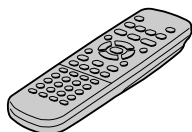
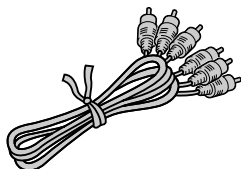
本取扱説明書に記載されているイラストは、実際の商品と異なる場合があります。

リージョン番号について

このDVDビデオプレーヤーのリージョン番号は2です。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に 2 のように2が含まれているか、または ALL が表示されていないと、このプレーヤーでは再生できません。（このとき画面に表示が出ます。）

付属品

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

ワイヤレスリモコン　1個
単三形乾電池×2個

映像・音声接続コード　1本

- 取扱説明書（本書）　1部

もくじ

はじめに ●お使いになる前に必ずお読みください。

■ 安全上のご注意 4
■ 使用上のお願い 8
■ ディスクについて・お知らせ 9
■ 各部のなまえ 12
前面／背面 12
表示窓 13
リモコン 14
乾電池の入れかた 15
リモコンで操作するには 15

接続 ●再生する準備をします。

■ テレビとの接続 18
テレビとの接続 18
オーディオ機器やコンポーネント映像入力端子／D端子付きテレビとの接続 19
■ 他の機器との接続 20
ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続する 21
ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプと接続する 21
DTSデコーダー内蔵アンプと接続する 22
MPEG2デコーダー内蔵アンプと接続する 22
デジタル音声入力端子付きアンプと接続する 23

再生(基本編) ●ディスクを再生してみましょう。

■ ディスクの再生 26
ディスクを再生する 26
■ いろいろな速さの再生 28
早送り、早戻しで再生する 28
コマ送りで再生する 28
スローモーションで再生する 29
中断したあとの続きを再生する（続き再生） 29
■ 頭出しサーチ 30
トップメニューで頭出しする 30
番号を指定して頭出しする 31
前後のチャプター／トラックを頭出しする 31

再生(応用編) ●こんな使いかたもできます。

■ タイムサーチ再生 34
タイムサーチで頭出しする 34
■ A－B間再生 35
範囲を指定して繰り返し再生する 35
■ リピート/ランダム再生 36
繰り返し再生する／順不同に再生する 36
■ メモリー再生 37
好きな順番で再生する 37
■ ズーム再生 38
ズーム再生する 38
■ 画質の切り換え 39
画質を切り換える 39
■ 音質の切り換え 40
音質を切り換える 40
■ アングルの切り換え 41
アングルを切り換える 41
■ 字幕の表示と切り換え 42
字幕の言語を切り換える 42
■ 音声の切り換え 43
音声を切り換える 43
■ 使用状態と各種設定 44
使用状態と各種設定 44
■ MP3／WMAファイルの再生 46
MP3／WMAファイルの再生 46
■ JPEGファイルの再生 48
サムネイル表示を起動する 48
サムネイルを表示する 49

機能設定 ●お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

■ 初期設定の変更と機能の設定 52
設定のしかた 52
設定の内容 54
■ 言語コード表 59

その他

■ 故障かな…？と思ったときは 62
■ 仕様 63
■ 保証とアフターサービス .... 裏表紙

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図　記　号	図　記　号　の　意　味
⊘ 禁　止	“⊘”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

異常や故障のとき

煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

⚠警告

設置されるとき

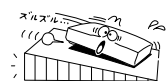
屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと

火災・感電の原因となります。

電源プラグは交流100Vのコンセントに接続すること

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと

本機が落ちて、けがの原因となります。

上に物を置かないこと

- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

ご使用になるとき

修理・改造・分解はしないこと

火災・感電の原因となります。

点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

ディスクトレイなどから異物を入れないこと

金属類や紙などの燃えやすい物が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

雷が鳴りだしたら、本機やコード類に触れないこと

感電の原因となります。

電源コードは

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと**

火災・感電の原因となります。

お手入れについて

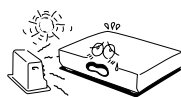
電源プラグの刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること

電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。

⚠注意

設置されるとき

温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

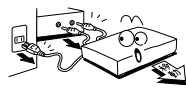
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

風通しの悪い場所に置かないこと

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

- 壁に押しつけないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をはずすこと

電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

ご使用になるとき

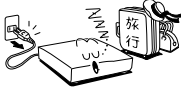
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

ディスクトレイに、手を入れないこと

指をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠注意

ご使用になるとき

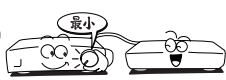
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

電源を入れる前には音量を最小にすること

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

リモコンに使用している乾電池は、

- 指定以外の乾電池は使用しないこと
- 極性［（＋）と（－）］を間違えて挿入しないこと
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと
- 乾電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

使用上のお願い

取り扱いに関すること

■ 移動させるときは
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
■ 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
■ 長時間ご使用になっていると天板や後部が多少熱くなりますが、故障ではありません。
■ ふだん使用しないとき
必ず、ディスクを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。
■ 長期間使用しないとき
機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

● 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
● 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れに関すること

キャビネットや操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
● ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

日本国内用です

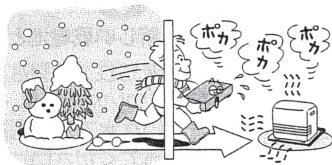
本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
This DVD video player is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

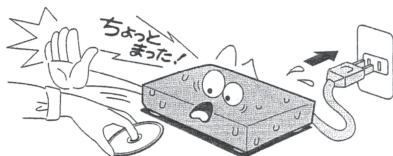
結露（露付き）について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズに水滴がつくことがあります。これを“結露（露付き）”といいます。

■ “結露”はこんなときおきます。

● 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
● 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
● 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
● 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

■結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、水滴がとれますので、そのまましばらく放置してからご使用ください。

ディスクについて・お知らせ

ディスクの取り扱いかたなどについて説明します。

再生できるディスク

本機では、以下のディスクを再生することができます。

	マーク（ロゴ）	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオディスク	DVD VIDEO / DVD VIDEO	映像（動画）＋音声	12cm
			8cm
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD	映像（動画）＋音声	12cm
			8cm
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm
			8cm（CDシングル）

以下のディスクも再生できます。
ただしディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。
- DVDビデオフォーマットのDVD－Rディスク
- CD－DA（音楽用CD）フォーマットのCD－R／CD－RWディスク

- 上記以外のディスクは再生できません。
- 上記のディスクでも、DVD－RAMディスクや規格外のディスクなどは再生できません。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式（PAL、SECAM表示）のディスクには使用できません。

■ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。
（PBCとは Playback Control の略です。）
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD（バージョン1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生できます。
PBC付きビデオCD（バージョン2.0）	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

お知らせ

ディスクにマークがあっても、データの作りかたやディスクの状態によって、再生ができない場合があります。
市販されているDVDビデオディスクであっても再生できないことがあります。
その場合は、「東芝家電修理ご相談センター」までお問い合わせください。
（連絡先は裏表紙に記載されています。）

ディスクについて・お知らせ（つづき）

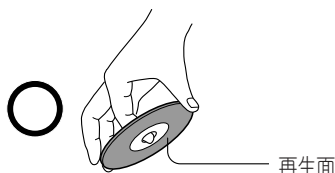
ディスクに関する用語について

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

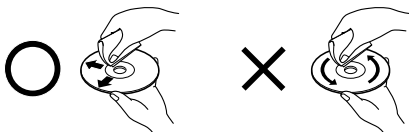
タイトル： DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の「話」に相当します。
チャプター： タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。本の「章」に相当します。
トラック： ビデオCD／音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。
ディスクによっては、これらの番号が記録されていないものもあります。

ディスクの取り扱いかた

● 再生面には手を触れないでください。

● ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスクのお手入れのしかた

● ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

● シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

● 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
● 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
● ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。
専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。

本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的所有権で保護された著作権保護技術を使用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

各部のなまえ

くわしくは、なまえの 〉 内のページをご覧ください。

前面

背面

映像出力端子 18

D1/D2映像出力端子 19

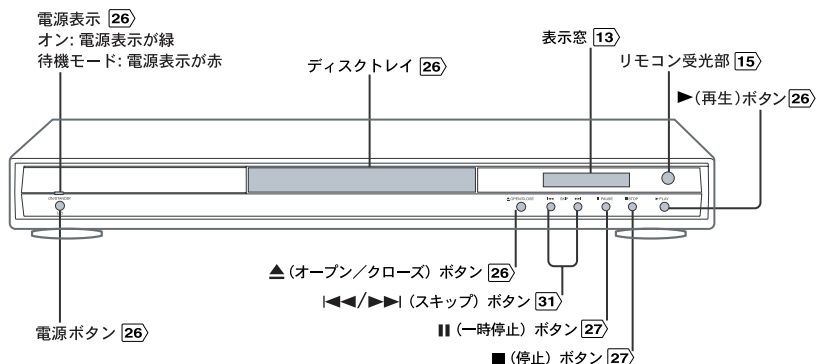
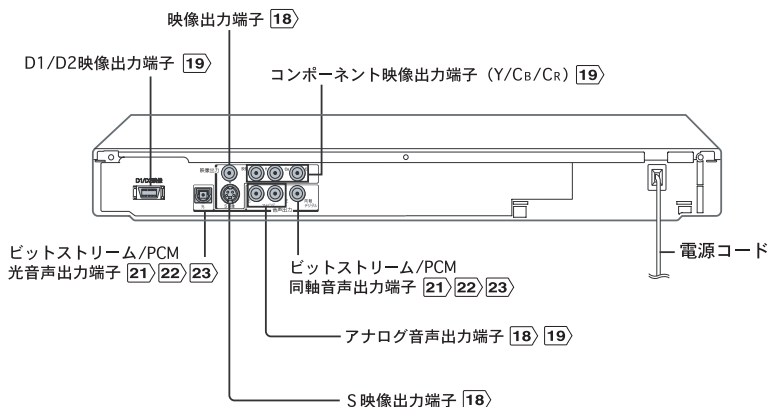
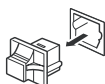
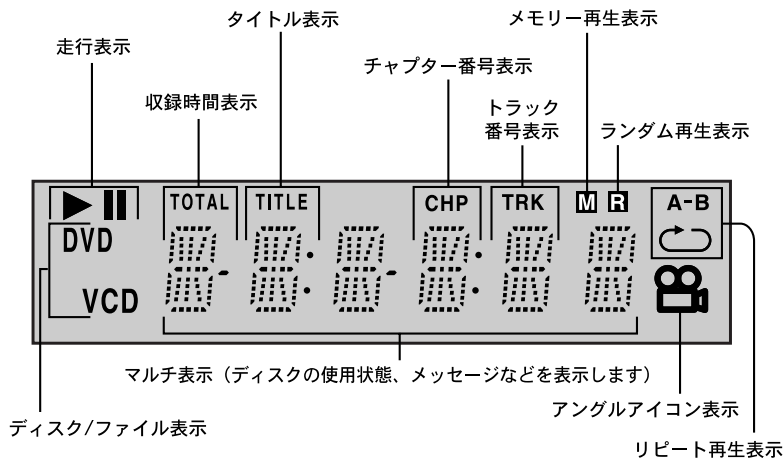
コンポーネント映像出力端子（Y/CB/CR）19

ビットストリーム/PCM
光音声出力端子 21 22 23

ビットストリーム/PCM
同軸音声出力端子 21 22 23

電源コード

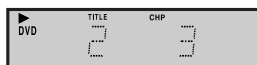
アナログ音声出力端子 18 19

S映像出力端子 18

光デジタルケーブルを接続するときは、
キャップをはずし、形状を合わせて奥まで
しっかり差し込んでください。
端子を使わないときは、ほこりが付かない
ようキャップを取り付けてください。

表示窓

■再生を始めると経過時間を表示します。タイトル番号／チャプター番号／トラック番号を表示するときは表示窓切換ボタンを押してください。表示が切り換わります。
ディスクによっては切り換わらないことがあります。

再生するディスクの種類で表示が異なります。

DVDビデオディスク

- 再生しているとき

（例）

タイトル番号2のチャプター番号3を再生

チャプター番号や経過時間を表示しないディスクもあります。

ビデオCD（VCD）

- 再生しているとき

（例）

トラック番号6を再生

トラック番号や経過時間を表示しないディスクもあります。

音楽用CD

- 再生しているとき

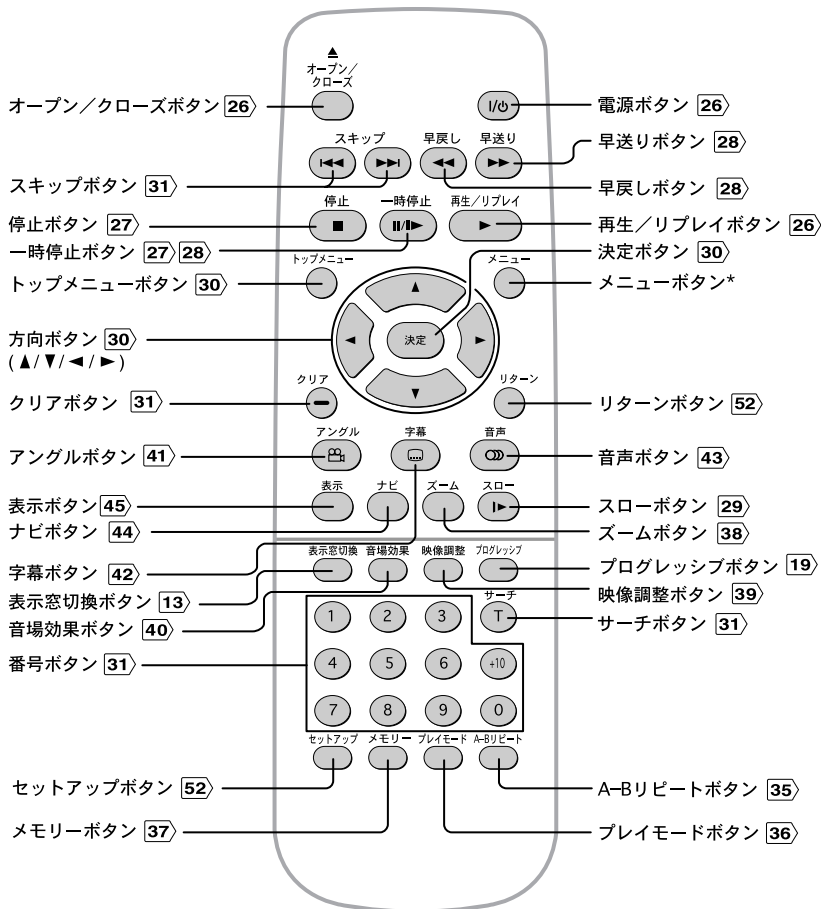
（例）

トラック番号6を再生

各部のなまえ（つづき）

本文の操作説明はリモコンを使っています。くわしくは、なまえの □〉 内のページをご覧ください。

リモコン

- オープン／クローズボタン 26
- スキップボタン 31
- 停止ボタン 27
- 一時停止ボタン 27 28
- トップメニューボタン 30
- 方向ボタン 30 (▲/▼/◄/►)
- クリアボタン 31
- アングルボタン 41
- 表示ボタン 45
- ナビボタン 44
- 字幕ボタン 42
- 表示窓切換ボタン 13
- 音場効果ボタン 40
- 番号ボタン 31
- セットアップボタン 52
- メモリーボタン 37
- 電源ボタン 26
- 早送りボタン 28
- 早戻しボタン 28
- 再生／リプレイボタン 26
- 決定ボタン 30
- メニューボタン*
- リターンボタン 52
- 音声ボタン 43
- スローボタン 29
- ズームボタン 38
- プログレッシブボタン 19
- 映像調整ボタン 39
- サーチボタン 31
- A–Bリピートボタン 35
- プレイモードボタン 36

＊ メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューで頭出しする」 30 と同様の手順で行います。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

⚠注意

■ リモコンに使用している乾電池は

● 指定以外の電池は使用しないこと
● 極性表示［（＋）と（－）］を間違えて挿入しないこと
● 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと

● 乾電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかないこと

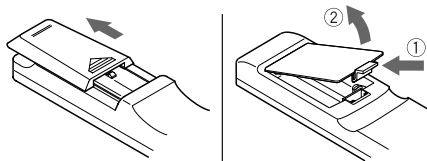
● 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと

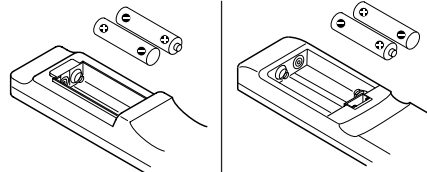
これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

禁　止

■ 付属されているリモコンについて
リモコンは2種類あり、どちらか一方が同梱されています。
電池カバーの違いだけで、リモコン自体の性能に違いはありません。乾電池の入れかたは、リモコンのイラストに合わせて行ってください。

乾電池の入れかた

1 フタをはずす

2 乾電池を入れる

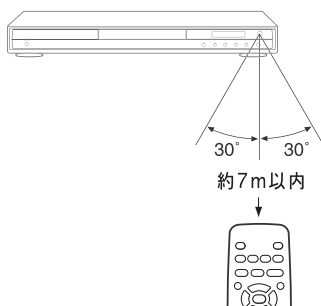
指定電池：
単三形マンガン乾電池（R6）
単三形アルカリ乾電池（LR6）

乾電池の＋、－を確かめて入れてください。

3 フタを閉める

■乾電池について

リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、すべて新しい乾電池と交換してください。

リモコンで操作するには

本体に向けてリモコンのボタンを押す

距離：リモコン受光部正面より約7m以内です。

角度：リモコン受光部より上下左右約30度以内です。

- リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

■リモコンについて

- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。

接続

再生する準備をします。

- テレビとの接続
- オーディオ機器やコンポーネント映像出力端子/D端子付きテレビとの接続
- ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続する
- ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプと接続する
- DTSデコーダー内蔵アンプと接続する
- MPEG2デコーダー内蔵アンプと接続する
- デジタル音声入力端子付きアンプとの接続

テレビとの接続

本機の映像と音声をテレビで楽しむ場合に接続します。
出力される音声の種類については 43 をご覧ください。

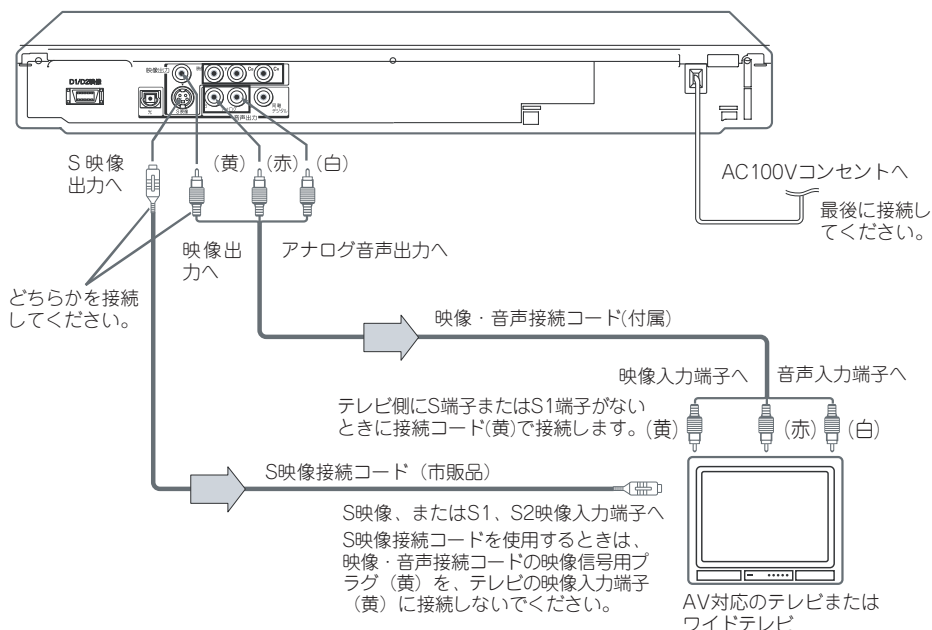
⚠警告

電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること。
交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

テレビとの接続

信号の流れ

D1/D2映像
映像出力
S映像
光
音声出力
同軸 デジタル

S 映像出力へ
(黄) (赤) (白)
AC100Vコンセントへ
最後に接続してください。
映像出力へ
アナログ音声出力へ
どちらかを接続してください。
映像・音声接続コード(付属)
映像入力端子へ
音声入力端子へ
テレビ側にS端子またはS1端子がないときに接続コード(黄)で接続します。(黄)
(赤) (白)
S映像接続コード(市販品)
S映像、またはS1、S2映像入力端子へ
S映像接続コードを使用するときは、映像・音声接続コードの映像信号用プラグ(黄)を、テレビの映像入力端子(黄)に接続しないでください。
AV対応のテレビまたはワイドテレビ

・以下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
デジタル出力	ビットストリーム またはPCM	52 57
ビデオ出力	コンポジット	52 56

お願い

- 接続テレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- テレビの音声入力端子がモノラルのときは、別売りの接続コードTSC-AX05を使用して接続してください。
- 本機とテレビは直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオテッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止機能の働きにより正常な映像にならないことがあります。
- DTSを選ぶと、アナログ音声出力端子から音声が出力されません。43

コンポーネント映像出力端子やD端子について

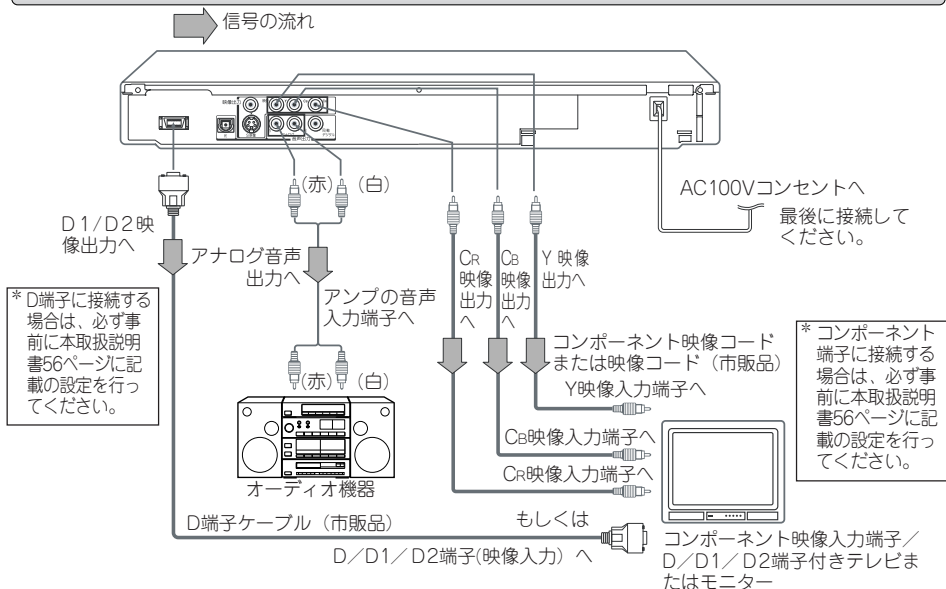
テレビやモニターには、コンポーネント映像入力端子やD端子が付いているものがあります。この端子に接続すると、より高画質な映像を楽しむことができます。
コンポーネント映像入力端子の名称は、テレビやモニターにより異なります。（例えばY、R—Y、B—YまたはY、CB、CRなど）
接続するテレビやモニターによって、再生する画像の色が薄くなったり色相が変わることがあります。このときは、テレビやモニター側で調整してください。

プログレッシブ映像出力端子/入力端子

テレビやモニターには、プログレッシブ信号を入力できるコンポーネント映像入力端子やD端子が付いているものがあります。この端子に接続すると、フリッカーノイズの少ない、より高画質な映像を楽しむことができます。

⚠注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。感電の原因となることがあります。

オーディオ機器やコンポーネント映像入力端子／D端子付きテレビとの接続

■リモコンを使った出力信号（インターレース/プログレッシブ）の切り換えかた

本機のコンポーネント映像出力端子／D2映像出力端子からは、インターレースとプログレッシブのどちらかのスキャン方式の映像信号が出力されます。接続したテレビのスキャン方式に合った映像信号が出力されるよう、リモコンのプログレッシブボタンを押して、信号の種類を選んでください。

・以下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
デジタル出力	ビットストリームまたはPCM	52 57
ビデオ出力	コンポーネント	52 56

お願い

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 本機の電源コードをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源をいれたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- ビデオ出力設定でコンポーネントが選ばれたときのみ、プログレッシブ出力のオン／オフを選ぶことができます。
- プログレッシブが「出力可能」になっているときのみ、コンポーネント映像が出力されます。
- DTSを選ぶと、アナログ音声出力端子からは音が出力されません。

他の機器との接続

お手持ちのオーディオシステムと接続して、迫力ある音響効果を楽しめます。

- テレビとの接続は 18 19 をご覧ください。
- 出力される音声の種類については 43 をご覧ください。
- 図中の記号の意味は以下のとおりです。

フロントスピーカー

サラウンドスピーカー

サブウーファー

センタースピーカー

信号の流れ

⚠警告

- 本機のビットストリーム/PCM音声出力端子に、ドルビーデジタル、DTSまたはMPEG2のデコード機能を搭載していないAVデコード製品を接続してお使いになるときは、機能設定画面で「デジタル出力」を必ず「PCM」にしてください 52 57 。ほかの設定では大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。
- DTS対応のディスク（音楽用CD）を再生すると、アナログ音声出力端子からは過度のノイズが出力されることがあります。オーディオ機器を本機のアナログ音声出力端子に接続している場合は、スピーカーなどを破損することのないよう十分ご注意ください。DTSデジタルサラウンド音声をお楽しみになるときは、必ず本機のビットストリーム/PCM音声出力端子にDTSデジタルサラウンドデコーダーを接続してください。

お願い

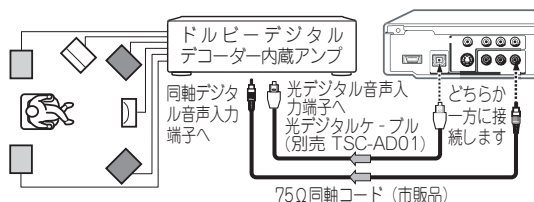
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 本機の電源プラグをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- 本機の光音声出力および同軸デジタル音声出力端子をドルビーデジタル対応レシーバーのAC-3 RF入力端子に接続しないでください。
  レシーバーのAC-3 RF入力端子は、レーザーディスクに接続するための端子であり、本機の光および同軸デジタル音声出力端子とは互換性がありません。
- 本機の同軸デジタル音声出力端子は、レシーバーのデジタル（同軸）入力端子に接続してください。
- 本機の光音声出力端子は、レシーバーのデジタル（光）入力端子に接続してください。

ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続する

ドルビーデジタル

最新の劇場公開映画で使われている代表的なサラウンド音響技術であるドルビーデジタルの臨場感が、ご家庭でも再現できます。本機とドルビーデジタルデコーダーを内蔵した6チャンネルアンプ、またはドルビーデジタルプロセッサーを接続して、DVDビデオディスクの映画やコンサートライブなどを、大迫力の臨場感で楽しめます。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、ドルビープロロジック及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- ドルビーデジタル対応のDVDビデオディスクをお使いください。
- 以下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「デジタル出力」	「ビットストリーム」	52 57
音声方式	DD D	43

ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプと接続する

ドルビーサラウンド・プロロジック

ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプと、フロント、センター、サラウンドスピーカーを接続することにより、迫力ある臨場感で音声を楽しめます。

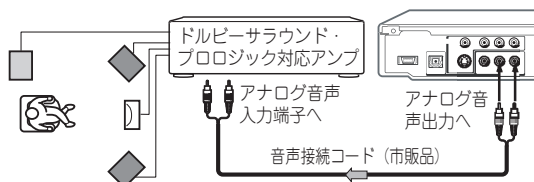
■ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプでドルビーサラウンド・プロロジックを楽しむには

「ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続する」と同じ接続をします。アンプの取扱説明書にしたがって、ドルビーサラウンド・プロロジックが聞けるように設定してください。

■ドルビーデジタルに対応していないアンプでドルビーサラウンド・プロロジックを楽しむには

以下のように接続してください。

- **以下の設定を行ってください。**

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「デジタル出力」	「ビットストリーム」または「PCM」	52 57

＊ サラウンドスピーカーは1本または2本接続します。2本接続しても、音声はモノラルになります。

他の機器との接続

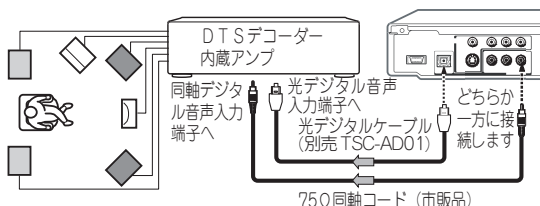
他の機器との接続（つづき）

DTSデコーダー内蔵アンプと接続する

DTS

劇場公開映画などで使われている高品位のサラウンド音響技術であるDTSの臨場感が、DVDビデオディスクや音楽用CDで再現できます。本機とDTSデコーダーまたはDTSプロセッサーを接続して、DVDビデオディスクや音楽用CDの迫力ある5.1チャンネルDTSサラウンドを楽しめます。

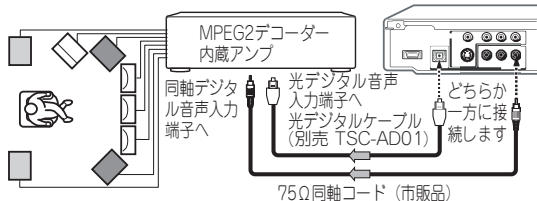
DTSおよびDTS Digital Out はDigital Theater Systems, Inc. の商標です。

- DTS対応のDVDビデオディスクまたは音楽用CDをお使いください。
- 以下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「デジタル出力」	「ビットストリーム」	52 57
音声方式	DTS	43

MPEG2デコーダー内蔵アンプと接続する

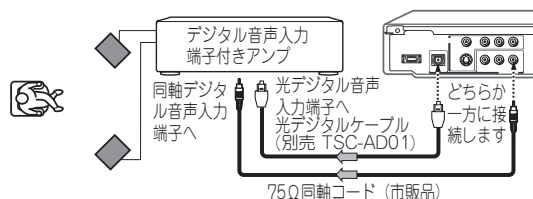
MPEG2

本機とMPEG2デコーダーを内蔵したアンプ、またはMPEG2プロセッサーを接続して、DVDビデオディスクの映画やコンサートライブなどを、大迫力の臨場感で楽しめます。

- MPEG2対応のDVDビデオディスクをお使いください。
- 以下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「デジタル出力」	「ビットストリーム」または「PCM」	52 57
音声方式	MPEG2	43

デジタル音声入力端子付きアンプと接続する

2チャンネルデジタルステレオ

デジタル音声入力端子付きアンプとスピーカーシステム（フロント右、左）につないで、2チャンネルデジタルステレオの迫力ある音響効果を楽しめます。

• **以下の設定を行ってください。**

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「デジタル出力」	「PCM」	52 57

再生(基本編)

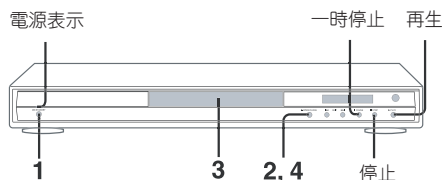
ディスクを再生してみましょう。

- ディスクの再生
- いろいろな速さの再生
- 頭出しサーチ

ディスクの再生

ディスクを再生します。

⚠注意

- ディスクトレイに、手を入れないこと
  指をはさみ、けがの原因となることがあります。
  特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。

DVD VCD CD ディスクを再生する

■準備

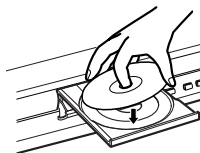
- ディスクの映像を楽しむときは、テレビの電源を入れて、本機を接続しているビデオ入力を選びます。
- 音声をオーディオ機器で楽しむときは、オーディオ機器の電源を入れて、本機を接続している入力に切り換えます。

1 電源ボタンを押す

本機の電源がはいり、電源表示が赤（待機状態）から緑（電源入り状態）に変わります。

2 オープン／クローズボタンを押す

ディスクトレイが開きます。

3 ディスクをディスクトレイに置く

再生面を下にして置きます。

- 再生するディスクによってはディスクの大きさが違いますので、それぞれ溝に合わせて置いてください。溝からはずれていると、ディスクを傷つけたり、故障の原因になります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものをディスクトレイに置かないでください。

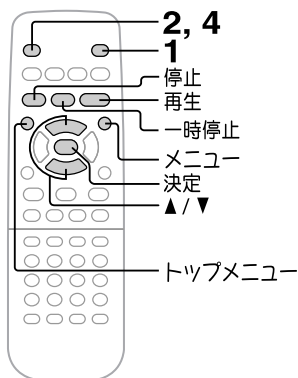
4 オープン/クローズボタンを押す

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。

トップメニューが記録されたＤＶＤビデオディスクを再生したときは、メニュー画面が表示されます。「トップメニューで頭出しする」をご覧ください。30

- メニュー画面は、ディスクによって自動的に表示される場合と、トップメニューボタンやメニューボタンを押して表示される場合があります。

お知らせ

- 止めた後の再生（続き再生）については、29ページをご覧ください。
- ＰＢＣ（プレイバックコントロール）をオンにしてＰＢＣ付きビデオＣＤを再生すると、記録されているメニュー画面がテレビに表示され、その表示画面から再生したい内容を番号ボタンで選ぶことができます。ビデオＣＤの再生中、停止中にかかわらず、リモコンのメニューボタンを押すことにより、ＰＢＣをオンまたはオフにすることができます。ＰＢＣをオフからオンに切り換えると、メニュー画面が表示されます。またPBCをオンにした状態でリターンボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

■より高画質でお楽しみいただくために

DVDビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。お使いになるテレビにもよりますが、通常テレビを見るときよりも画質調整（シャープネスコントロール）を下げるとノイズが減り、見やすくなります。

■ DVD VCD CD について

この取扱説明書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表わしています。

DVD DVDビデオディスクでお楽しみいただけます。

VCD ビデオCDでお楽しみいただけます。

CD 音楽用CDでお楽しみいただけます。

■再生を一時停止する（静止画再生）

再生中に一時停止ボタンを押す

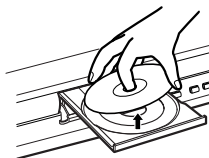
普通の再生に戻すには、再生ボタンを押します。
- 静止画再生中は、音声は再生されません。

■再生を止める

停止ボタンを押す

■ディスクを取り出す

オープン／クローズボタンを押す

ディスクトレイが最後まで完全に開いてから、ディスクを取り出します。

ディスクを取り出したあとは、オープン／クローズボタンを押して、ディスクトレイを閉めます。

■停止状態から再生を始める

再生ボタンを押す

■電源をオフにする（スタンバイモード）

電源ボタンを押すと、本機の電源がオフ（スタンバイモード）になり、電源表示は赤になります。

お知らせ

電源ボタンを押して電源表示が赤（スタンバイモード）になっても本機は微弱な通電状態にあります。本機の電源を完全にオフにするためには、電源プラグをAC100Vコンセントからぬいてください。

■スクリーンセーバーについて

ＤＶＤビデオディスクの静止画面が長く続くと、スクリーンセーバーが自動的に働きます。スクリーンセーバーを解除するときは、再生ボタンを押してください。

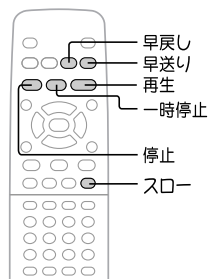
■オートパワーオフ機能

停止状態やスクリーンセーバーが約２０分続くと、本機の電源が自動的に切れます。

お知らせ

- 再生中に本機を動かさないでください。ディスクを傷つけてしまいます。
- ディスクトレイの出し入れは、本機またはリモコンのボタン操作で行ってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 再生が終わったあと、メニュー画面などが表示されるディスクがあります。メニュー画面などの静止画面が長く続くと、接続しているテレビ画面に焼付きが生じていることがあります。必ず停止ボタンを押して、再生を終了してください。

いろいろな速さの再生

普通の再生以外に、違った速さで再生したり、途中で中断した続きから再生することができます。

DVD VCD CD 早送り、早戻しで再生する

再生中に、早戻し／早送りボタンを押す

早戻し ◄◄

早戻し: 早戻しの再生
早送り: 早送りの再生

早送り ►►

押すたびに、再生する速さが切り換わります。

■普通の再生に戻すには

再生ボタンを押す

再生／リプレイ ►

お知らせ

- DVDビデオディスクでの早送り、早戻し再生中は、音声と字幕（副映像）は再生されません。音楽用CDでは音声は再生されます。
- 早送り早戻しの速さは再生するディスクによって異なります。

DVD VCD CD コマ送りで再生する

一時停止（静止画再生）中に、一時停止ボタンを押す

一時停止 II/II►

押すたびに、画像をコマ送りします。

■普通の再生に戻すには

再生ボタンを押す

再生／リプレイ ►

お知らせ

コマ送り再生中は、音声は再生されません。

DVD VCD CD スローモーションで再生する

再生中に、スローボタンを押す

スロー
I►

押すたびに、スローモーションの速さが切り換わります。

I► 1/2 → I► 1/4 → I► 1/8

■普通の再生に戻すには

再生ボタンを押す

再生／リプレイ
►

お知らせ

- スローモーションで再生中は、音声は再生されません。
- 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。

DVD VCD CD 中断したあとの続きを再生する（続き再生）

1 再生を中断する位置で停止ボタンを押す

停止
■

中断した位置を本機が記憶します。

2 再生ボタンを押す

再生／リプレイ
►

再生を中断した位置から再生が始まります。

■続き再生をしないで始めから再生するには

1. 停止ボタンを2回押す

停止
■

続き再生が解除されます。

2. 再生ボタンを押す

再生／リプレイ
►

DVD タイトルの始めから再生されます。

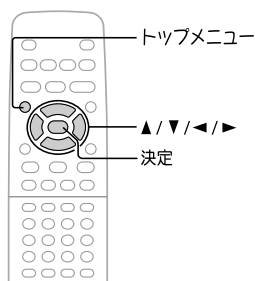
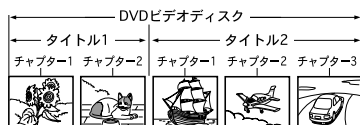
VCD CD ディスクの始めから再生されます。

- DVDビデオディスクをディスクの始めから再生したいときは、オープン／クローズボタンを押して一度ディスクトレイを引き出した後で、再生をしてください。

お知らせ

- 次のときは、続き再生の機能が働きません。
  - 機能設定画面で、「DVDメニュー」55や「レベル設定」57の設定を行ったとき
  - PBC付きビデオＣＤを、「ＰＢＣ」を「オン」の設定で再生しているとき
  - ディスクトレイを引き出したとき
  - 本機の電源プラグを抜いたとき
- ディスクによって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。
- 再生中に機能設定画面で設定変更を行うと、続き再生の位置が消去される場合があります。

頭出しサーチ

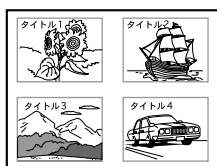
再生したいタイトルやチャプター、トラックを簡単に頭出しできます。

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

DVD トップメニューで頭出しする

1 トップメニューボタンを押す

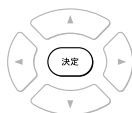
トップメニューが表示されます。

トップメニュー

例

タイトル3　タイトル4

2 ▲/▼/◄/► ボタンを押して、再生したいタイトルを選ぶ

トップメニューの各タイトルに番号がついている場合は、その番号を番号ボタンで直接選ぶことができます。

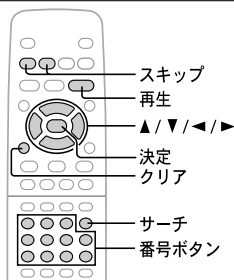
3 決定ボタンを押す

選んだタイトルのチャプター1から再生が始まります。

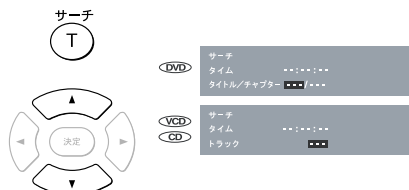
お知らせ

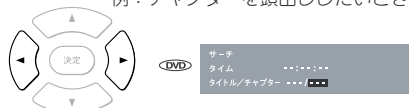
- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、画面に表示される操作手順にしたがってください。
- 再生中にトップメニューを表示したとき、決定ボタンを押さずにもう一度トップメニューボタンを押すと、もとの位置から再生が始まります。（ディスクによって異なります。）
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューを使った頭出しはできません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンをタイトルボタンと呼んでいる場合があります。

番号を指定して頭出しする

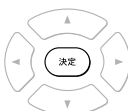
再生中にリモコンの番号ボタンを押すことで、チャプター／トラックを簡単に頭出しすることができます。

タイトル、チャプターを指定して詳細な頭出しをすることもできます。

1 サーチボタンを押し、▲/▼ボタンでタイトル／チャプターもしくはトラックを選択する

ビデオCD／音楽用CDのときは、手順2は不要です。手順3で、頭出ししたいトラックの番号を、番号ボタンで入力してください。

2 ◄/►ボタンを押して、頭出し先の表示にカーソルを置く

例：チャプターを頭出ししたいとき

3 必要に応じて、手順2、3を繰り返す

1 2 3
4 5 6
7 8 9 0

4 決定ボタンを押す

選んだ箇所から再生が始まります。

お知らせ

- クリアボタンを押すと、番号の表示は設定前に戻ります。表示そのものを消すときは、サーチボタンを数回（ディスクの種類によって異なります）押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を使った頭出しはできません。

前後のチャプター／トラックを頭出しする

スキップ(⏮/⏭)ボタンを繰り返し押して、再生したいチャプター／トラック番号を出す

選んだチャプター／トラックから再生が始まります。

１つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
連続して二度押しすると、１つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

お知らせ

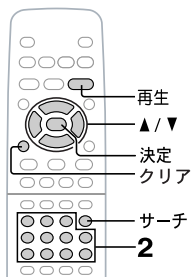
- タイトルによっては、チャプター番号を表示しないものがあります。
- 再生中に、本体の⏮/⏭（スキップ）ボタンを押し続けると、早戻し、早送りの再生になります。再度本体の⏮/⏭（スキップ）ボタンを押し続けると、速さが切り換わります。
早戻し、早送りの再生中にチャプター／トラックの頭出しをするときは、再生ボタンを押していったん普通の再生に戻した後で、⏮/⏭（スキップ）ボタンを押してください。
- チャプター／トラックの先頭で⏮（スキップ）ボタンを押すと一つ前のチャプター／トラックに戻る場合があります。

再生(応用編)

こんな使い方もできます。

- タイムサーチ再生
- A－B間再生
- リピート／ランダム再生
- メモリー再生
- ズーム再生
- 画質の切り換え
- 音質の切り換え
- アングルの切り換え
- 字幕の表示と切り換え
- 音声の切り換え
- 使用状態と各種設定
- MP3／WMAファイルの再生
- JPEGファイルの再生

タイムサーチ再生

ディスクの経過時間を指定して頭出しができます。

DVD VCD CD タイムサーチで頭出しする

1 サーチボタンを押す

サーチ T

▲/▼ボタンを押して、タイムを選択する。

DVD

サーチ
タイム --:--:--
タイトル／チャプター ---/---

VCD CD

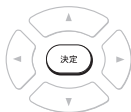
サーチ
タイム --:--:--
トラック ---

2 番号ボタンを押して、時間を入力する。

例 1 → 2 → 5 → 3 → 0

サーチ
タイム –1:25:30
タイトル／チャプター ---/---

- 最初の一桁の数字は時を表します。
- 次の二桁の数字は分を表します。
- 最後の二桁の数字は秒を表します。
- 間違ったときは、クリアボタンを押す。

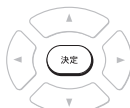
3 決定ボタンを押す

指定したところから、再生が始まります。

お知らせ

- ディスクによっては、タイムサーチできないものがあります。
- 場面によっては、タイムサーチできないことがあります。
- タイムサーチできるのは、DVDビデオディスクでは現在選択している同じタイトル内、ビデオCD／音楽用ＣＤではディスクの総時間に対する再生位置指定となります。

■再生中に、お好みのブックマークを設定し再生する

1. サーチボタンを二度押して、ブックマークの設定画面を表示させ、決定ボタンでお好みのシーンを設定します。

サーチ T

2. 決定ボタンを押すと、選ばれたブックマークが再生されます。

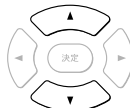
■他のブックマークを設定する。

上記1. の手順にしたがい、▲/▼ボタンで他のブックマークを選択します。

■ブックマーク設定画面を消すには、サーチボタンを押します。

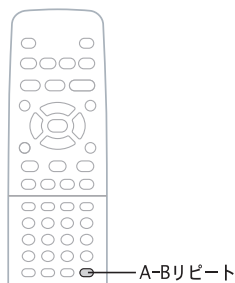
サーチ T

■ブックマークを解除する

上記1. の手順にしたがってブックマーク設定画面を表示させます。次に、▲/▼ボタンで解除したいブックマークを選択し、クリアボタンを押します。

お知らせ

- ディスクによっては、この操作ができないものがあります。
- ディスクトレイをオープンするか、または、電源ボタンを押して電源をオフにすると、設定されたブックマークは解除されます。
- ブックマークの前後のシーンでは、字幕が表示されない場合があります。

A－B間再生

好きなところだけ範囲を指定して繰り返し再生できます。

DVD VCD CD 範囲を指定して繰り返し再生する

1 再生中に、繰り返し再生したい範囲の始点(A)で、A-Bリピートボタンを押す

2 繰り返し再生したい範囲の終点(B)で、A-Bリピートボタンを押す

自動的にA点に戻り、指定した範囲（A-B間）の繰り返し再生が始まります。

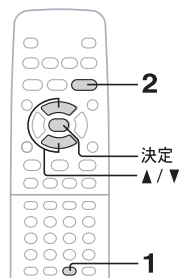
■普通の再生に戻すには

A-Bリピートボタンを押す

お知らせ

- ディスクによっては、A-B間の繰り返し再生ができないものがあります。
- 同じタイトル（ビデオCD／音楽用CDの場合はトラック）の中だけで、A-Bの設定ができます。
- マルチアングル41で記録されている部分では、A-B間の繰り返し再生はできますが、アングルを切り換えることはできません。
- ディスクによって、繰り返し再生したときの始点（A)の位置が変わることがあります。

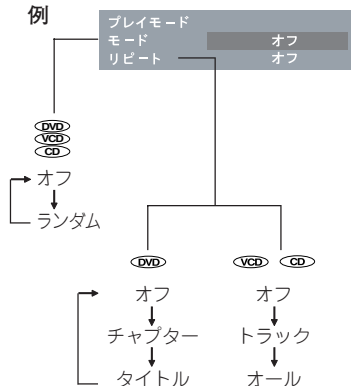
リピート／ランダム再生

タイトルやその中のチャプター、またはトラックを繰り返したり、順不同に再生できます。

DVD VCD CD 繰り返し再生する／順不同に再生する

1 プレイモードボタンを押す

プレイモード

▲/▼ボタンでお好みのモードを選択し、決定ボタンを押す。

例

チャプター：

同じチャプターを繰り返し再生します。

タイトル：

同じタイトルを繰り返し再生します。

トラック：

同じトラックを繰り返し再生します。

オール：

ディスク全体を繰り返し再生します。

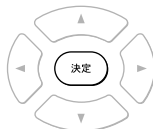
オフ：

普通の再生に戻ります。

2 再生ボタンを押す

選んだモードで再生が始まります。

■普通の再生に戻すには

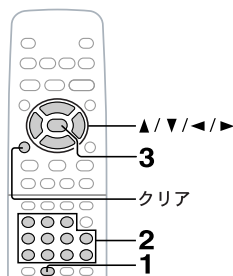
オフと表示されるまで、決定ボタンを押す。

■設定画面を消すには

プレイモードボタンを押す。

お知らせ

ディスクによっては、プレイモードボタンが働かない場合があります。

メモリー再生

再生したいタイトルやチャプター、またはトラックを組み合わせ、お好きな順番で再生できます。最大12とおりまで設定できます。

DVD VCD CD 好きな順番で再生する

1 ディスクを入れ、停止中にメモリーボタンを押す

メモリー

メモリー再生の設定画面が表示されます。

例

プログラム 入力 タイトル/チャプター

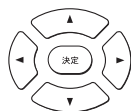
1 - - - -	4 - - - -	7 - - - -	10 - - - -
2 - - - -	5 - - - -	8 - - - -	11 - - - -
3 - - - -	6 - - - -	9 - - - -	12 - - - -

プログラム再生　　オールクリア

チャプター番号
タイトル番号

2 再生したい順番に番号を入力する

▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押すたびに、カーソルが移動します。カーソルがそれぞれ入力する位置にあることを確認してから、番号ボタンを押してください。
ビデオCD、音楽用CDのときは、トラック番号を入力します。

3 ▲/▼/◄/► ボタンを使ってカーソルを「プログラム再生」に移動させ、決定ボタンを押す。

設定した順にメモリー再生が始まります。

■設定が終わった内容を修正するには

1. 画面上で、▲ / ▼ / ► / ◄ ボタンを押して、修正したい項目にカーソルを合わせる。
2. 左記の手順**2**と同じように、番号を入力する。

■設定が終わった内容を取り消すには

1. 画面上で、▲ / ▼ / ► / ◄ ボタンを押して、取り消したい項目にカーソルを合わせる。
2. クリアボタンを押す。

■メモリー再生から普通の再生に戻すには

1. メモリーボタンを押す。
2. 画面上で、▲ / ▼ / ► / ◄ ボタンを押して、オールクリアにカーソルを合わせる。
3. 決定ボタンを押す。内容は全部クリアされます。
4. 再生ボタンを押すと、普通の再生に戻ります。

ディスクの最初から再生します。

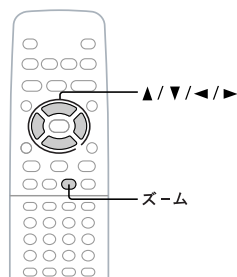
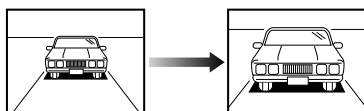
■再生中にメモリー内容を変更するには

再生中にメモリーボタンを押すと、入力用のウインドウが現れます。手順 2 ～ 3 を行ってメモリー内容を変更します。

お知らせ

- ディスクによって、メモリー再生できないものがあります。
- メモリー再生中にリピートを設定する 36 と、現在進行中のメモリー再生を繰り返します。
- 画面の表示中にメモリーボタンを押すと、メモリー画面が消えます。
- 本機の電源を切ったときは、設定したメモリー内容が解除されます。

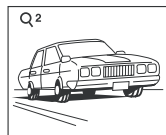
ズーム再生

画面を拡大（ズーム再生）できます。

DVD VCD CD ズーム再生する

再生中、スローモーション再生中または一時停止中に、ズームボタンを押す

ズーム

アイコンが表示されズーム再生になります。

例

「ズーム」を選んだ状態で、ズームボタンを押すたびに、次のように倍率が切り換わります。

Q 1 → Q 2 → Q 3 → Q off

▲／▼／◄／► ボタンを押すごとに、ズームする部分を移動させることができます。

映像の端まで移動すると、それ以上その方向には移動できません。

■普通の再生に戻すには

Q off が表示されるまで繰り返しズームボタンを押します。

ズーム

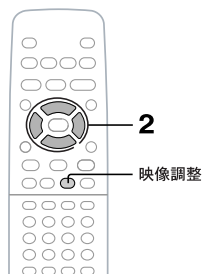
お知らせ

- ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- 字幕やメニューの選択表示（マーク）などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。
- ズームアイコンの表示中は、ディスクに記録されているメニューの選択ができません。ディスクに記録されているメニューを使うときは、ズームアイコンを消してください。
- 「ＴＶ画面形状」56の設定によって倍率は異なります。

画質の切り換え

画質をお好みに合わせて簡単に切り換えられます。

画質を切り換える

DVD VCD CD

1 映像調整ボタンを押す

映像調整

設定画面が表示されます。

映像調整
明るさ 08
シャープ 08

2 ▲/▼ボタンを押して、設定したいモードを選ぶ

◄ / ► ボタンを押すたびに画質が切り換わります。

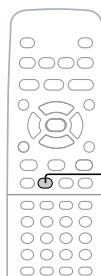
■設定画面を消すには

もう一回映像調整ボタンを押す

お知らせ

画質の説明は一般的な目安の表現です。お好みに合わせて設定してください。

音質の切り換え

音質をお好みに合わせて簡単に切り換えられます。

DVD VCD CD 音質を切り換える

1 音場効果ボタンを押す

音場効果

現在の設定を表示します。

3D On

もう一回音場効果ボタンを押すと、音場効果はオフになります。

3D

2本のスピーカーだけでも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

アナログ音声出力端子を使って3Dでお聞きになるときは「デジタル出力」を「PCM」に設定してください。

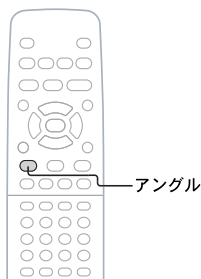
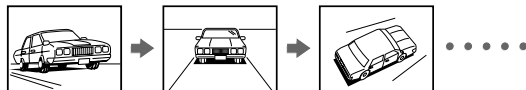
■設定画面を終了するには

切り換え後何も操作しないと、設定画面は自動的に消えます。

お知らせ

- 音質の説明は一般的な目安の表現です。お好みに合わせて設定してください。
- 実際の音場効果はディスクによって異なります。
- ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプに接続して、ドルビーサラウンド・プロロジックを楽しむ場合は「3D Off」に設定してください。
「3D Off」以外では、正常な音とならない場合があります。

アングルの切り換え

複数の角度（マルチアングル）で記録されている場所では、画像を好きなアングルに切り換えられます。

DVD アングルを切り換える

1 **再生中に、アングルボタンを押す**

アングル

マルチアングルで記録されている部分を再生すると、本体表示窓にアングルアイコン( )が点灯します。
アングルアイコンが点灯しているときに、記録されている中から好きなアングルに切り換えることができます。

例

2 **アングル番号の表示中に、アングルボタンを押す**

アングル

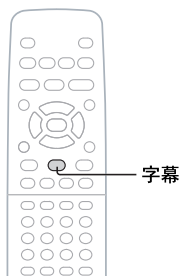
押すたびに、アングルが切り換わります。

- 約2秒後、設定された新しいアングルから再生が開始されます。
- 約3秒以内に再度アングルボタンが押されない場合、現行のアングルで再生します。

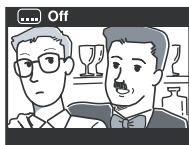
お知らせ

- 複数のアングルで記録されたディスクを再生したときのみ、この機能が働きます。
- 一つのアングルのみ記録されたディスクを再生すると、 1/1 が表示されます。

字幕の表示と切り換え

ディスクに字幕が記録されていれば、再生画面に字幕を表示できます。
複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、その中から好きな字幕言語に切り換えられます。

DVD 字幕の言語を切り換える

1 再生中に、字幕ボタンを押す

現在の字幕設定を表示します。

2 字幕設定の表示中に、字幕ボタンを押す

字幕ボタンを押すたびに、DVDビデオディスクに記録されている字幕に切り換わります。

■字幕の表示と非表示を切り換えるには

1. 再生中に、字幕ボタンを押す

2. 字幕表示を非表示にするには [....] Off が表示されるまで字幕ボタンを押してください。

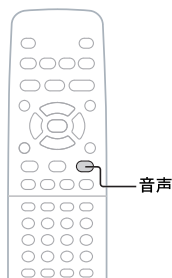
お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。
- 再生している場所によっては、「オン」を選んでもすぐには字幕が表示されないことがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切り換えを、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

お知らせ

- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、初期設定 54 の言語になります。ディスクによってはディスクで決められている言語になります。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

音声の切り換え

複数の音声が記録されているディスクでは、その中から好きな言語や聞きたい音声方式に切り換えられます。

DVD VCD CD 音声を切り換える

1 再生中に、音声ボタンを押す

音声

現在の音声設定を表示します。

例 1/3 D 6ch FRE

記録されている音声が順番にかわります。（記録可能な音声設定は8までです）

言語名ではなく、言語の記号が表示されます。

言語コード表を参照してください。59

2 音声設定の表示中に、音声ボタンを押す

音声

音声ボタンを押すたびに、DVDビデオディスクに記録された音声設定に切り換わります。

■ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるには

音声

再生中に、音声ボタンを押すと、違った音声チャンネルを聞くことができます。（ステレオ、左、右）

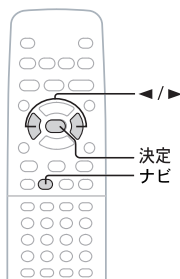
お知らせ

- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、初期設定 55 の音声になります。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。
- ディスクによっては、音声の切り換えをディスクメニューを使って行う場合があります。このときは、メニューボタンを押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。

■出力される音声の種類

音源 ＼ 出力端子		光／同軸デジタル音声出力端子 「デジタル出力」 52 57 「ビットストリーム」	光／同軸デジタル音声出力端子 「デジタル出力」 52 57 「PCM」	アナログ音声出力端子
DVDビデオディスク	ドルビーデジタル	ビットストリーム	PCM	○
	リニアPCM	PCM	PCM	○
	DTS	ビットストリーム	ビットストリーム	—
	MPEG1、MPEG2	PCM	PCM	○
ビデオCD	MPEG1	PCM	PCM	○
音楽用CD	リニアPCM 44.1kHz/16bit	PCM	PCM	○
	DTS	ビットストリーム	ビットストリーム	（ノイズ）
MP3/WMA		PCM	PCM	○

（網掛け）：3D再生可能

- 光または同軸デジタル音声出力端子から出力される96kHzの信号は、以下の場合にはダウンサンプリングされた信号（48kHz）になります。
  - 音場効果を「3D」に設定したとき 40
  - 著作権保護処理されたディスクのとき
- 著作権保護処理されたディスクの場合、光または同軸デジタル音声出力端子から出力される20bit以上の信号は16bitになります。

使用状態と各種設定

DVD VCD CD 使用状態と各種設定

ナビボタンを押す

ナビ

以下のような表示が出ます。

詳しくは各項目の「 」内のペ - ジをご覧ください。

例：DVDビデオディスク再生時

■項目

タイトル番号（トラック番号）
数字ボタンによって、タイトルやトラックの頭出しをします。31

チャプター番号
数字ボタンによって、チャプターの頭出しをします。31

タイトルやトラックの経過時間
経過時間により、希望の場所の頭出しをします。34

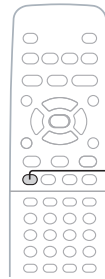
■ **停止** 27

◄◄ **スキップ（チャプター／トラックの頭出し）** 31

► **再生** 26

►► **スキップ（チャプター／トラックの頭出し）** 31

❚❚ **一時停止** 27

使用状態と各種設定（つづき）

■現在の状態を確認する

1. 表示ボタンを押す
   以下のような表示が出ます。

カウンター表示

DVD 現在のタイトルの経過時間/残り時間

VCD CD 現在のトラックの経過時間/残り時間

00:09:29 01:25:27

2. もう一度表示ボタンを押すと、表示内容がかわります。

DVD 00:09:29 01:25:27

タイトル 1/10　チャプター3/15　アングル 1/3

オーディオ 1/2 D 2 ch FRE

サブタイトル 4/4 ENG

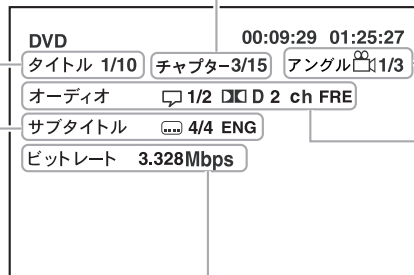
ビットレート 3.328Mbps

31 タイトル番号

42 字幕の設定

チャプター番号 31

アングルの設定 41

音声の設定 43

ビットレート

3. 更にもう一度表示ボタンを押すと、表示を消すことができます。

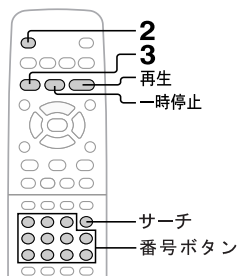
ビットレート (Mbit/s)

一秒間に送られるＤＶＤビデオディスクの画像、音声、字幕の情報量。
数字が大きいほど、処理される情報量は増えますが、必ずしも画質がよくなるとは限りません。

お知らせ

再生するディスクによって表示される内容は異なります。

MP3/WMAファイルの再生

CD-RまたはCD-ROMにMP3／WMA形式で保存したファイルが再生できます。

MP3/WMAファイルの再生

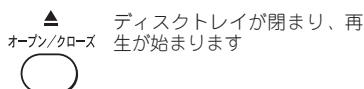
■準備

- 本機で対応できるディスクであることを確認してください。47

1 MP3/WMAファイルが記録されているディスクを、ディスクトレイに置く

2 オープン/クローズボタンを押す

▲ オープン/クローズ

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります

3 再生を止めるときは、停止ボタンを押す

停止 ■

■再生を一時停止する

再生中に、一時停止ボタンを押す

一時停止 II/II▶

普通の再生に戻すには、再生ボタンを押します。

■ファイル（曲）を選ぶ

1. サーチボタンを押す
2. 再生したいファイル（曲）の番号を入力する
3. 決定ボタンを押すと、選んだ曲の再生が始まります

お知らせ

- ファイル名やフォルダ名は一定の表示範囲を超えると省略されます。
- MP3/WMA再生中には、早送り、早戻しをすることができません。

お知らせ

- ディスクによっては再生できないものがあります。
- 著作権保護をかけて記録されたWMAファイルは再生できません。
- MP3/WMAファイルの再生では、光/同軸デジタル音声出力端子からは、「デジタル出力」の実際の設定状況にかかわらず、リニアPCM音声が出力されます。57 43
- 日本語のファイル名は正しく表示されません。
- MP3のID3タグの内容は表示することができません。

■再生できるファイル

このDVDビデオプレーヤーに適合したMP3/WMA記録ディスクは以下のものに限られています。使用する前にお確かめください。

ディスクの種類：	CD-ROM、CD-R（650MB/74Min.のみ） CD-RWはおすすめできません。
サンプリング周波数：	44.1 kHzのみ
ビットレート：	WMA： 48 kbps ～ 192 kbps （固定ビットレート） MP3： 32 kbps ～ 320 kbps （固定ビットレート）
CD物理フォーマット：	Mode 1およびMode 2 XA Form1
ファイルシステム：	ISO9660レベル1、2またはJoliet
ファイル名：	英数字のみで構成され、末尾に拡張子「MP3」または「WMA」がつくこと。 （例「○○○○○○○○.MP3」、「○○○○○○○○.WMA」） “？！＞＜＋＊｝｛｀［@］：；￥／．，” など、特殊な文字が使われていないこと。
フォルダの総数：	255以下
ファイルの総数：	999以下
WMAコーデック：	V7またはV8（ステレオ音声のみ）

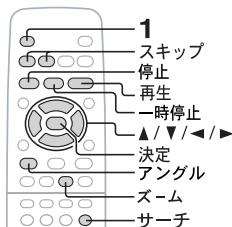
インターネットからMP3ファイルや音楽をダウンロードするためには、許諾が必要となりますのでご注意ください。

Windows Media™、及びWindows® ロゴは米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

お知らせ

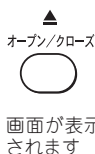
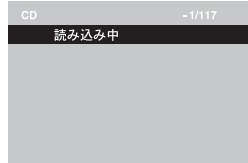
上記の規格からはずれたWMAやMP3ファイルを再生すると、スキップしたり、カウンターは動いているのに音が出ない場合があります。

JPEGファイルの再生

CD-RまたはCD-ROMにJPEG形式で保存したファイルが再生できます。サムネイル（縮小画像）での一覧表示、シングルイメージビュー、スライドショーの再生が楽しめます。画像の回転や拡大もできます。

JPEGファイルの再生

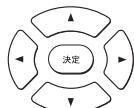
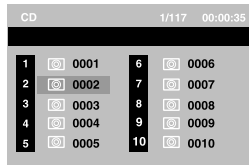
■準備

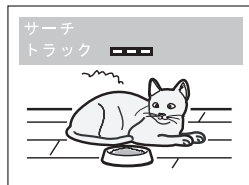
- ＪＰＥＧ画像が記録されたディスクを用意してください。50
- 接続したＴＶの画面形状を4:3に設定してください。ＪＰＥＧファイルの再生では、映像信号は本機の設定にかかわらず常に4:3の画面形状で出力されます。テレビ側が例えば「ワイド」など、4:3以外の画面形状に設定されていると、画像の横のびが生じます。お使いのテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 オープン/クローズボタンを押して、ディスクトレイを開け、JPEGファイルの記録されたディスクをディスクトレイに置く

オープン/クローズボタンを押して、ディスクトレイを閉じると、ディスクの情報の読み込みが始まります。

画面が表示されます

読み込みが終わると自動的にスライドショーが始まります。

■シングルイメージビュー

スライドショー再生後、またはスライドショー再生中に停止ボタンを押すと、ファイルリストが表示されます。

▲/▼/◀/▶ボタンを押して、再生したいファイルを選び、決定ボタンを押します。

サーチボタンを押してトラック番号を入力しても、再生したいファイルの表示をすることができます。

■JPEG再生を終了するには、停止ボタンを押す

- オープン/クローズボタンを押してディスクトレイを開けても再生は終了します。

■再生を一時停止するには

再生中に一時停止ボタンを押す

普通の再生を戻すには、再生ボタンを押す

■ページを移動する

スキップボタン▶▶|で、次のページに移動する

スキップボタン|◀◀で、前のページに移動する

■画像を拡大する

ズームボタンを押す

ズーム

ズームボタンを押すたびに、以下のように倍率が変わります。

Q1 → Q2 → Q3 → Q off

映像の端まで移動すると、それ以上その方向には移動できません。

■通常の倍率に戻す

ズームボタンを数回押して、アイコン Q を消す。

ズーム

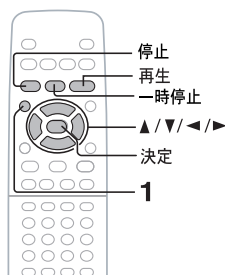
- ズームアイコンが消えると、ズームは解除されます。
- 画像のサイズによっては、画像全体の表示ができない場合があります。

スライドショーを再開したい場合は再生ボタンを押す。

■画像を回転する

アングルボタンを繰り返し押す

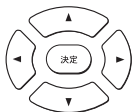
アングル

アングルボタンを押すたびに、90度ずつ回転します。

サムネイルを表示する

1 **画像表示中にトップメニューボタンを押す**

▲/▼/◄/► ボタンで画像を選び決定ボタンを押すと、選んだ画像が単独で表示され、以降の画像も数秒間隔で次々に表示されます。

■ページを移動する

▲/▼/◄/► ボタンで画面中の I◄◄ または ►►I を選び、決定ボタンを押す。

■JPEG再生を終了するには、停止ボタンを押す

- オープン/クローズボタンを押しても再生は終了します。

■再生を一時停止するには

再生中に一時停止ボタンを押す

普通の再生に戻すには、再生ボタンを押す

お知らせ

- 画像のサイズによっては、画像全体の表示ができない場合があります。
- 日本語のファイル名は正しく表示されません。

JPEGファイル再生時のお知らせ

JPEGファイルが記録されたディスクを再生する場合、ディスクの多くは、本機に入れるとスライドショーを開始します。スライドショー再生中に停止ボタンを押すと、ファイルリストを表示することができます。

本機で対応できるJPEGディスクは以下のものに限られています。

・ディスクの種類：　CD-ROM、またはCD-R （650MB/74 min.のみ）
CD-RWはおすすめできません。

・CD物理フォーマット：　Mode 1、Mode 2 XA Form 1

・ファイルシステム：　ISO9660 Level 1、Level 2またはJoliet

・ファイル名：　英数字のみで構成され、末尾に「.JPG」の拡張子がつくこと。
（例：＊＊＊＊＊＊＊＊.JPG）
“？！＞＜＋＊｝｛｀［@］：; ￥／. ,” など、特殊な文字が使われていないこと。

・フォルダの総数：　255以下

・ファイルの総数：　999以下

ファイルのサイズによっては、画像の一部が表示されないことがあります。

ディスクによっては再生できないことがあります。特にディスクに以下のファイルが含まれていると、再生できない場合があります。

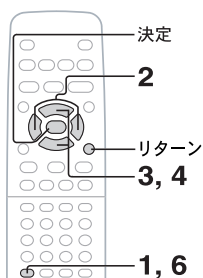
1. サイズが3072×2048ピクセルを超えるファイル
2. Exif以外の形式のファイル

機能設定

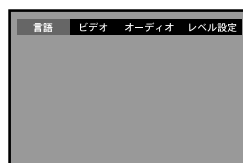
お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

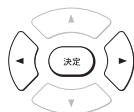
- 初期設定の変更と機能の設定
- 言語コード表

初期設定の変更と機能の設定

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。
お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

DVD VCD CD 設定のしかた

1 停止中に、セットアップボタンを押す

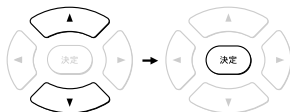
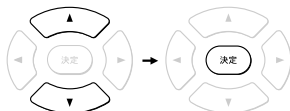
機能設定画面が表示されます。

2 ◄ / ► ボタンで、設定したい項目のグループを選び、決定ボタンを押す

（次ぺ - ジをご覧ください。）

言語の設定

ビデオの設定

オーディオの設定

レベル設定

3 ▲ / ▼ ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

4 該当ページを参照しながら、▲/▼ ボタンで設定し、決定ボタンを押す

5 手順 3 、 4 を繰り返して他の項目を設定する

他のグループにうつるときは、▲ ボタンで手順 2 に戻ってください。

6 セットアップボタンを押す

画面が消え、設定は終わりです。

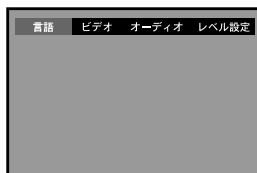
■画面表示中にリターンボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

お知らせ

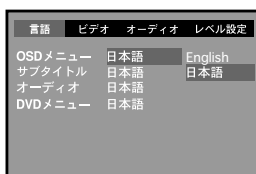
手順を途中で中止したいときは、セットアップボタンを押して機能設定画面を消します。

項目		設定内容	設定の詳細ページ
言語			
OSDメニュー	DVD VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。	54
サブタイトル	DVD	記録してある各国語の字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	54
オーディオ	DVD	記録してある各国語の音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。	55
DVDメニュー	DVD	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。	55
ビデオ			
TV画面形状	DVD	接続しているテレビの形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。	56
ビデオ出力	DVD VCD CD	接続したテレビに、コンポジット信号を出力するか、コンポーネント信号を出力するかを設定します。	56
オーディオ			
デジタル出力	DVD VCD CD	接続のしかたに合わせて、どの音声方式で出力するかを設定します。	57
レベル設定			
パスワード	DVD	パスワードを設定します。	57
レベル設定	DVD	パレンタルロックのレベルを設定します。	58
工場出荷時設定	DVD VCD CD	言語、ビデオ、オーディオなどの設定を、工場出荷時の設定状態に戻します。	58

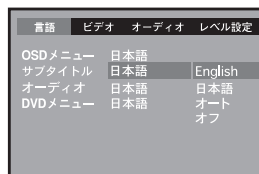
初期設定の変更と機能の設定 （つづき）

設定の内容

OSDメニュー DVD VCD CD

English ： 英語で画面表示をします。
日本語 ： 日本語で画面表示をします。

1) 決定ボタンを押す
2) ▲/▼ボタンで画面表示言語を選ぶ
3) ▲/▼ボタンで言語を切り換える
4) 決定ボタンを押す
5) リターンボタンを押す

サブタイトル DVD

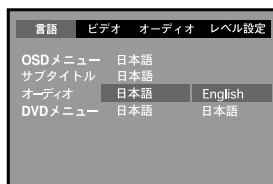
English ： 英語で字幕を表示します。
日本語 ： 日本語で字幕を表示します。
オート ： 字幕を表示する言語を選ぶことができます。
オフ ： 字幕を表示しません。

1) 決定ボタンを押す
2) ▲/▼ボタンで字幕言語を選び決定ボタンを押す
3) ▲/▼ボタンで言語を切り換える
4) 決定ボタンを押す
5) リターンボタンを押す

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、メニューボタンを押してディスクメニューを表示してから字幕の言語を選んでください。

オーディオ DVD

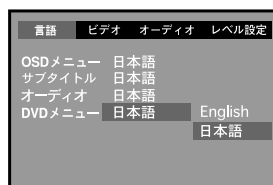
English ： 英語で音声を再生します。
日本語 ： 日本語で音声を再生します。

1) 決定ボタンを押す
2) ▲/▼ボタンでオーディオを選び、決定ボタンを押す
3) ▲/▼ボタンで言語を切り換える
4) 決定ボタンを押す
5) リターンボタンを押す

お知らせ

ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

DVDメニュー DVD

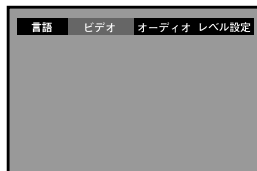
English ： 英語でDVDメニューを表示します。
日本語 ： 日本語でDVDメニューを表示します。

1) 決定ボタンを押す
2) ▲/▼ボタンでDVDメニューを選び、決定ボタンを押す
3) ▲/▼ボタンで言語を切り換える
4) 決定ボタンを押す
5) リターンボタンを押す

お知らせ

ディスクによっては、設定した言語のDVDメニューが記録されていないことがあります。この場合、DVDメニューはそのディスクで初期設定されている言語で表示されます。

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

設定の内容

ビデオ

TV画面形状　DVD

1) ◀/▶ボタンでビデオを選び、決定ボタンを押す
2) 決定ボタンを押す
3) ▲/▼ボタンでテレビの画面形状を切り換える
4) 決定ボタンを押す
5) リターンボタンを押す

4：3 パンスキャン　：従来の4：3テレビを本機に接続しているとき。テレビ画面全体に再生画面を表示します。画面の片側または両側の画像部分がカットされます。

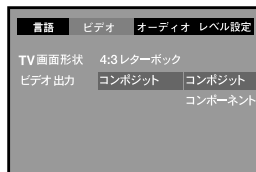
4：3 レターボックス：従来の4：3テレビを本機に接続しているとき。テレビ画面に対して横長に表示します。

16：9 ワイド　：16：9ワイドテレビを本機に接続しているとき。

お知らせ

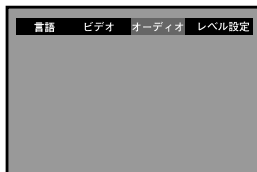
- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状どうりに再生されないことがあります。
- 4：3のみで記録されたDVDビデオディスクを使うと、再生の画面形状は常に4：3のサイズで表示されます。
- 4：3のテレビを本機に接続した状態で「16：9 ワイド」を選ぶと、再生画面に水平方向の歪みや縦方向の縮みが生じます。お使いのテレビに合わせて設定を行ってください。

ビデオ出力　DVD　VCD　CD

1) ◀/▶ボタンでビデオを選ぶ
2) 決定ボタンを押す
3) ▲/▼ボタンでビデオ出力を選び、決定ボタンを押す
4) ▲/▼ボタンでビデオ出力モードを選ぶ
5) 決定ボタンを押す
6) リターンボタンを押す

コンポジット　：コンポジット映像端子またはSービデオ映像端子をテレビに接続したときに選択します。

コンポーネント　：コンポーネントビデオ端子のあるテレビに接続したときに選択します。プログレッシブモードはコンポーネントが選ばれた時のみオンになります。

お知らせ

D 端子またはコンポーネント端子とテレビを接続する際には、製品に付属の映像コードを利用して本機とテレビを接続し、設定をコンポーネントに切り換えた後に、D 端子またはコンポーネント端子の接続を行なってください。

オーディオ

デジタル出力　DVD　VCD　CD

接続に合わせて選びます。

1) ◀/▶ボタンでオーディオを選び、決定ボタンを押す
2) 決定ボタンを押す
3) ▲/▼ボタンで音声出力方式を切り換える
4) 決定ボタンを押す
5) リターンボタンを押す

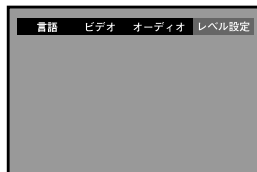
PCM：　2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。

ドルビーデジタル、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

ビットストリーム：ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

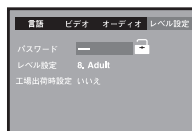
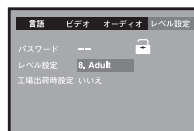
お知らせ

本機のアナログ音声出力端子に。ステレオシステムを接続したときは、“PCM”または“ビットストリーム”を選んでください。

レベル設定

パスワード / レベル設定　DVD

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し替えて再生されます。

- ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したレベルでパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

1) ◀/▶ボタンでレベル設定を選ぶ
2) 決定ボタンを押す
3) ▲/▼ボタンでレベル設定を選び、決定ボタンを繰り返し押して視聴レベルを選ぶ。
4) ▲ボタンでレベル設定を選び、4桁のパスワードを入力して決定ボタンを押す。
5) 決定ボタンを押す

お願い

- 入力を間違えた場合は、決定ボタンを押す前にクリアボタンを押し、再度４桁のパスワードを入力します。
- レベル設定で設定されたレベル以上の規制レベルを持つDVDビデオディスクは再生できません。

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

設定の内容

つづき

視聴制限のレベル：

レベル1　：Kid Safe

レベル2　：G

レベル3　：ＰG

レベル4　：ＰG-13

レベル5　：ＰG-R

レベル6　：R

レベル7　：NC-17

レベル8　：Adult

この場合は、視聴制限が無効です。

この場合は、視聴制限が有効です。

パスワードを忘れてしまったら、数字ボタンの８を４回押し、決定ボタンを押すと設定されていたパスワードは解除されます。

パスワード：８８８８

お知らせ

視聴レベルの目安は次のとおりです。

レベル1：　子供向け

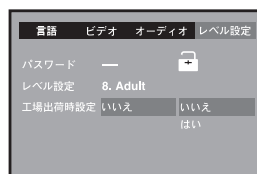
レベル2〜3：　小〜中学生以上

レベル4〜7：　高校生以上

レベル8：　成人向け

工場出荷時設定　DVD　VCD　CD

言語、ビデオ、音声などの設定を、工場出荷時の設定に戻します。

1）◀/▶ボタンでレベル設定を選ぶ
2）決定ボタンを押す
3）▲/▼ボタンで工場出荷時設定を選ぶ
4）決定ボタンを押す
5）▲/▼ボタンで「はい」を選んで、決定ボタンを押す

お知らせ

本機を工場出荷時の設定に戻すためにリセットすると、設定完了までに3〜5秒かかります。

言語コード表

記号	言語名
ーーー	言語なし
CHI (ZH)	中国語
DUT (NL)	オランダ語
ENG (EN)	英語
FRE (FR)	フランス語
GER (DE)	ドイツ語
ITA (IT)	イタリア語
JPN (JA)	日本語
KOR (KO)	韓国語
MAY (MS)	マレー語
SPA (ES)	スペイン語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語

記号	言語名
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	（アファン）オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語

記号	言語名
QU	ケチュア語
RM	ラエティ＝ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

その他

- 故障かな…？と思ったときは
- 仕様
- 保証とアフターサービス

故障かな…？と思ったときは

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状と処置

症状	原因	処置	参照ページ
電源がはいらない	・電源プラグが抜けている	・電源プラグをしっかりと差し込む	18
電源が自動的に切れた	・オートパワーオフ機能が働いた	・再生ボタンを押す	27
画像がでない/異常な色になる（赤、緑 等）	・テレビの入力切り換えが正しくない	・テレビの入力切り換えを本機からの画像が映るように切り換える	18,19
	・映像接続コードがしっかりと接続されていない	・映像接続コードをしっかりと差し込む	18,19
	・テレビと設定が合っていない	・正しいビデオ出力を設定する	56
	・接続する方法が違う	・正しく接続する	18,19
画像が乱れる	・テレビが本機に対応していない	・正しいシステムを選ぶ	56
音声が出ない	・音声接続コードをつないでいる機器の入力切り換えが正しくない	・音声接続コードをつないでいる機器の入力切り換えを、ディスクからの音声が出力されように切り換える	26
	・音声接続コードがしっかり接続されていない	・音声接続コードをしっかりと差し込む	18-23
	・音声接続コードでつないでいる機器の電源がはいっていない	・音声接続コードでつないでいる機器の電源を入れる	26
	・音声出力が正しく設定されていない	・音声出力を正しく設定する	43,52,57
画像や音声が乱れることがある	・ディスクが汚れている	・ディスクを取り出し、きれいにする	10
	・早送り、早戻しをした	・画像が多少乱れるが、故障ではありません	-
画像が明るくなったり暗くなったりノイズが出たりする	・コピー防止機能が働いている	・本機とテレビを直接接続する	18,19
再生が始まらない	・ディスクが入っていない	・ディスクを入れる	26
	・本機で再生できないディスクが入っている	・再生できるディスクの種類やテレビ方式を確認する	9
	・ディスクを裏返しに入れている	・再生面を下にして入れる	26
	・ディスクがななめにはいっている	・ディスクをきちんと収まるように入れる	26
	・ディスクが汚れている	・ディスクをきれいにする	10
	・視聴制限が設定されている	・視聴制限を解除する。または規制レベルを変更する	52,57-58
ディスクで決められたとおりの再生ができない	・リピート再生、ランダム再生、メモリー再生などをしている	・これらの再生の間は、ディスクで決められたとおりの再生ができないことがあります	-
操作ボタンを押しても動作しない	・静電気やノイズなどの影響により本機が動作しなくなっている	・本体の電源ボタンを約3秒以上押す。本機の電源が切れた後で、もう一度電源ボタンを押して電源を入れ直す。それでも動作しないときは、電源プラグを抜き、もう一度差し込む	-
リモコンが動かない	・リモコンが受光部に向いていない	・リモコンの送信部を本機の受光部に向ける	15
	・リモコンと受光部の間が遠すぎる	・約7m以内のところて操作する	15
	・リモコンの電池が消耗している	・電池を交換する	15

仕様

本体部／端子部／付属品

[本体部]

項目	仕様
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	10W
質量	1.7kg
外形寸法	幅430×高さ50×奥行200mm
信号方式	日米標準NTSCカラーテレビション方式
使用レーザー	半導体レーザー　波長650／780nm
音声周波数特性　(デジタル音声)	DVDリニア音声：48kHz サンプリング 4Hz～22kHz (JEITA) ：96kHz サンプリング 4Hz～44kHz (JEITA)
信号対雑音比（S/N比）(デジタル音声)	100dB以上
ダイナミックレンジ　(デジタル音声)	93dB以上
全高調波ひずみ率　(デジタル音声)	0.005%以下
ワウ・フラッタ	測定限界　(±0.001% (W. PEAK)) 以下 (JEITA)
使用条件	温度：5℃～35℃、動作姿勢：水平

[端子部]

項目	仕様
D1/D2映像出力	14ピン、２列、1.27mmピッチ (Y) 1.0V(p-p)、75Ω　　(CB/CR) 0.7V(p-p)、75Ω
映像出力	1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ピンジャック×1
S映像出力	(Y) 1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ミニDIN4ピン×1 (C) 0.286V(p-p)、75Ω
コンポーネント映像出力	(Y) 1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ピンジャック×1 (CB/CR) 0.7V(p-p)、75Ω、ピンジャック×2
音声出力（同軸デジタル音声出力端子）	0.5Ｖ（ｐ－ｐ）、75Ω、ピンジャックX１
音声出力（光音声出力端子）	光出力ネクタ - X１
音声出力（アナログ）	2.0Ｖ（rms）、680Ω、ピンジャック（Ｌ、Ｒ）X１

[付属品]

付属品
映像・音声接続コード １本
ワイヤレスリモコン（SE-R0104） １個
単三形乾電池（Ｒ６） ２個
取扱説明書（本書） １部

・意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、たいせつに保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品について

- 当社は、DVDビデオプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは〜出張修理

62ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、運転を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容		
品名	DVDビデオプレーヤー	
形名	SD-260J	
お買い上げ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください	
お名前		
電話番号		
便利メモ	お買い上げ店名	☎（　）　―

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様へ･･･おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

トーシバ　ヨイ
フリーダイヤル **0120-1048-41**
電話受付：365日・24時間受付

新製品などのDVDプレーヤー・レコーダーの商品選びのご相談

『東芝DVDインフォメーションセンター』

フリーボイス **0120-96-3755**
携帯電話からのご利用は 0570-00-3755（通話料有料）
（PHSなど一部の電話ではご利用になれません）
受付時間：月曜〜土曜　10：00〜20：00
日曜・祝日　10：00〜16：00
（年末年始・当社指定休業日等を除く）

※フリーダイヤルまたはフリーボイスは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1

＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

811-260J91-010